

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

http://www.kawasakikeiba.com

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年10・11月号

さらなる飛躍ビービートルネード

東京ダービー制覇はフロックではなかったことをみずから証明したビービートルネード。18歳の若武者・町田直希ジョッキーとのコンビで戸塚記念を7馬身ぶっちぎりの圧勝。ダービー以来の実戦とは思えない強い勝ち方で3歳線に決着をつけた。



「自信はまったくなかった」と武井調教師。休養中も坂東牧場で乗り込んでいたが戸塚記念の時はもう一本追いたい完調手前の状態だった。まだ6、7分仕上げ。それであの強さ。正直驚いた」という。

終わってみればあの圧勝劇。早め好位から馬群を抜けた。12番人気で制した東京ダービーでは町田騎手を18歳のダービージョッキーにしたが、フロックでは？とも囁かれた。しかし休み明けながらもその疑問を一蹴したのが鮮やかに8馬身突き抜けた戸塚記念だった。

ダービー後には激走の疲れを癒すために放牧へ。しかし、放牧に出る前と変わったところという「精神的に強くなった」のみ。馬体は+7キロとはいえ大きく成長したという感じではなかったという。

「ダービーはフロックじゃなかった。実力で取ったということは戸塚記念で証明できた。今後のローテーションを図る一戦でもあるが、今までの3歳とは違った古馬一線級のペースの中でどう対応できるのか馬自身が学ぶレース。4、5番手から直線切れ脚を生かしてほしい。ここで通用するようなら先が楽しみです。今のところは順調、胸を借りるつもりでがんばります」
次なる道はJBCクラシック。その後はJBCのレース成績しだい決めていくという。

「またしてもガッツポーズが早いと叱られました。反省して。直線入って突き離すかなってくらい手応えが楽しかったんですが、いったんフワッと馬がしたので一度後ろを振り向いて確認したあと場内アナウンサーの音が聞こえて、勝ったんだと嬉しくなっちゃって」と町田直希騎手は満面の笑み。最年少記録を塗り替えたダービー制覇の相棒と共に獲得した二つめのタイトル。「あれだけ良いスタート切れた時点で58キロというハンデは関係なくなりましたね。道中も丁度いい位置に付けて思い通り。この馬は引っ掛かっているように見えるんですが、それは大跳びだからのせい。実際はそうでもないんです。3、4コーナーで後ろから石崎さんが来るのはわかったんですが、手応えがいったんあやしくなったんで仕掛けたら、そのままの勢いが止まらなかったんで勝利を確信しました。次走はJBCクラシック。中央馬相手にどれだけやれるか楽しみにしています。休み明けでこれだけ走るんですから大したもの。馬自身もすごく成長しているときだと思います」。

ビービートルネードの仕上げといえば高松良

Photo by Mr.O



第35回 戸塚記念 優勝V

ビービートルネード

父タヤスツヨシ
母ノースハッピー
牡3歳 鹿毛 2003年5月13日
馬主 ● (有)坂東牧場
調教師 ● 武井栄一
調教師補佐 ● 久保勇
騎手 ● 町田直希
厩務員 ● 高松良行
生産者 ● 加納牧場

行厩務員と甲斐年光厩務員の名コンビ。高松良行厩務員はレース前、自信はなかったそう。着を拾えればいかなという感じでした。放牧から帰ってきたトルネードは春と比べて、「体に幅が出てきました。でも馬体はもっと増えて欲しいです。精神面は全然変わってないですね。調教では相変わらずうるさいくらいに気合い乗りがいいです。」

普段厩舎ではあまり人が好きではなく、少し神経質な面があるそう。そして周りに左右されず、しっかり自分というものを持っている馬らしい。

「ダービーの頃よりも体重が増えていい太り方をしたね」と言うのは調教を担当している甲斐年光厩務員。以前と比較して、「背中がよくなった。そして心臓がいいね。瞬発力もよくなった」と笑顔で答えてくれた。

調教は相変わらず大変なようだ。調教馬場に入るとテンションが上がってしまうらしい。

戸塚記念に関しては、「まだ出来は6割くらいだったし、あまり期待はしていなかった」とあの強さに驚いた様子だった。

次走は地元川崎で行われるJBCクラシックを予定している。

高松厩務員によると、戸塚記念の後順調で、疲れも見せていないとの事。

「脚元も大丈夫です。ここまでいい感じできています」

甲斐厩務員の口からも、「ばっちり馬が出ています！」と力強い言葉が聞けた。

全国の競馬ファンの前でビービートルネードらしい走りを見せてくれるはずだ。



郷間勇太騎手デビュー



JBCスペシャル開催で騎手デビューを飾る郷間勇太(ゴウマ・ユウタ)騎手。川崎市出身の18歳。

「中学まではサッカーばかりやってましたね。母親の知り合いが馬主さんで騎手になることをすすめてくれました」というのが志すきっかけだ。

地方競馬教養センターに入る2日前に所属予定の調教師が死去するという憂き目もあったが、「頑張ればチャンスもある」とくじけず、鬼沢調教師と出会うに至る。

入学時9人いた同期が卒業時にはわずか3人。「自分は自分。ライバルは自分自身」という勝ち気さは騎手向きといえるだろう。

「今野さんのように人当たりが良くて追えるジョッキーになりたいです。雨の日や風の日、人が嫌がるときにこそ自分が手伝いましょうかと声を掛けなければダメだ、と実習の調教中に言ってくれた今野騎手の言葉を大切にしています。色々教えていただいて尊敬してます。減量特典を返上できる騎手(2年以内に50勝)になれるよう頑張ります。それまでは坊主頭でいます！」と元気印。特技はモノマネという陽気な性格と、端正なルックスでスター性十分。

勝負服は「目立ちたかったので使っている騎手があまりいない色と柄を選びました」と白黒ダイヤモンド、袖黒。

氏名	郷間勇太(ごうま・ゆうた)
所属厩舎	鬼沢裕充 厩舎
出身地	神奈川県
生年月日	昭和63年9月2日
星座	おとめ座
血液型	A型
身長・体重	155cm 46kg
初騎乗	平成18年10月30日 第1競走カサイクイーン
好きな騎乗法	先行・差し
服色呼称	胴白・黒ダイヤモンド、そで黒
目標の騎手	今野忠成騎手
自己PR	一鞍一鞍大切に騎乗したいです。

ワールドスーパージョッキーズシリーズ 地方競馬代表騎手決定!

JRA阪神競馬場で実施される第20回ワールドスーパージョッキーズシリーズ(WJS)に推薦する地方競馬代表騎手を決める予選4戦(10/16盛岡・10/26園田)が行われ、総合ポイント合計で笠松の濱口楠彦騎手が代表に決定した。

川崎代表として今野忠成騎手が参戦。「こういうチャンスはなかなかないので自分の今持っている力を100%出し切るつもりで挑んだ。結果は残念だったが、巧い騎手達と一緒に乗ることで学ぶことも多かった」と振り返った。



● 総合ポイント順位

1位	濱口楠彦(笠松)	50P
2位	山口竜一(北海道)	49P
3位	内田博幸(大井)	46P
4位	菅原勲(岩手)	36P
5位	岡部誠(愛知)	31P
6位	吉田隆二(荒尾)	30P
7位	田中学(兵庫)	28P
8位	赤岡修次(高知)	25P
9位	岡部誠(愛知)	20P
10位	石崎隆之(船橋)	19P
11位	今野忠成(川崎)	18P
12位	古性秀之(金沢)	13P
—	渡辺 博文(福山)	—
—	山口 勲(佐賀)	—

HAPPY BIRTHDAY 10月生れ

稲垣純緒調教師(3日) 津久井淳厩務員(4日) 本田博文厩務員(7日) 西田秀男厩務員(9日)
鈴木義久厩務員(10日) 原喜久夫厩務員(10日) 長谷川蓮太郎調教師(14日) 前住和寿騎手(15日)
井上英治厩務員(16日) 佐藤政光厩務員(19日) 原三男調教師(24日) 尾上慶久厩務員(24日)
甲斐年光厩務員(24日) 中野五男調教師(25日) 柴田秋生厩務員(28日) 伊東康正厩務員(30日)
山元義伴厩務員(30日) 加藤正臣厩務員(31日)

加藤 正臣 厩務員 <足立勝久厩舎>

川崎競馬で働き始めてちょうど10年目という節目の年を迎えたのは、足立勝久厩舎の加藤正臣厩務員である。出身は神奈川県小田原市。馬に興味を持ったきっかけは、現在同じ足立厩舎で働いている富士木和男厩務員と親戚だった事。加藤さんがまだ小さかった頃から川崎で働いている富士木厩務員のところに遊びに来ていたうちに馬が大好きになったそう。

「いつかは馬の仕事がしてみたいと思っていた。」高校を中退した後、青森の牧場で働いた事もあった。「でも当時は遊ぶ方が楽しくてね。」牧場をやめ、地元に戻ってサラリーマンも経験した。

ピザ屋の店長として働いていた時に転職はやってきた。それは富士木厩務員の息子さんが働いていた西山牧場へ友達と遊びに行った時の事である。「ちょうど足立厩舎で人がやめた時でね。手が足りないから来ればって言われて。迷いは全くなかったですね。」

そんな加藤さんに、働き始めて2年目で初勝利をプレゼントしてくれたのは、シンアレデーである。「6歳くらいまで未勝利の馬だったけど、自分が担当するようになってから2つも勝ってくれた。競馬の楽しさを教えてくれた馬だった。」ちなみにこのときは人も馬もうれしい初勝利だったそう。

「今までそんなに苦労した事はなかった。あえて挙げればミーティアレインかな。気分屋で機嫌が悪いと全然捕まらなかったね。」と苦笑い。

そして重賞初勝利はディーエスメイドンでのGⅠ東京プリンセス賞。「あの時はうれしかったね。感動した。初めて見たときから走りそうだなって思っていた。」

反対に「まさかあそこまでいくとは。」と思っていたのは重賞を4勝したモエレトレジャー。「最初の頃は跨いだら足が地面に着いちゃうんじゃないか？というくらい小さくてね。大人しくて全然手がからなかったし、苦労した覚えはないなあ。デビューの前から世話をしていたし、一番思い出に残っている馬です。」

趣味はお酒を飲む事だそう。休みの日はお酒を飲んだり、マージャンをしったりしてくつろいでいるという加藤さんの誕生日は10月31日。今年は川崎競馬の開催中であるためいつも通り仕事をして過ごすらしい。

「僕にとって馬は家族みたいなものです。」という加藤さん。現在はホクトマックス、ヤマノコスモス、ペシミストの3頭を担当している。

「担当馬がもし誕生日当日に出走して、しかも勝てたらすごくうれしいよね。感動するだろうなあ。」そのときは大好きなお酒もいつも以上に美味しく感じられるに違いない。

HAPPY BIRTHDAY 11月生れ

坂部浩史厩務員(1日) 野崎武司厩務員(1日) 櫻井裕之厩務員(3日) 山口洋輔厩務員(3日)
鈴木弘之厩務員(5日) 山田純男厩務員(7日) 目黒省二厩務員(8日) 金子正彦騎手(12日)
一條智史厩務員(14日) 塚本忠厩務員(15日) 峯尾智厩務員(15日) 山下理恵子厩務員(15日)
武井榮一調教師(18日) 友定伸介厩務員(18日) 上玉利二三厩務員(20日) 鈴木直亮厩務員(21日)
上田哲厩務員(24日) 樋口富男厩務員(25日) 坂野真佐樹厩務員(26日) 森美由紀厩務員(27日)
安部光夫厩務員(28日) 川端一人厩務員(28日) 杉村勝実調教師(29日) 尾西猛厩務員(29日)
井上政明厩務員(30日)

櫻井 裕之 厩務員 <山崎尋美厩舎>



「このところ毎年誕生日にJBCなんだよね(笑)」と話すのは11月3日で32歳になる櫻井厩務員。お醤油で有名な千葉県野田市の出身、馬とは関係のない環境で育った。

きっかけはあのオグリキャップの引退レースの有馬記念。すっかり馬の魅力に取りつかれてしまっただけは部活の練習が終わると近くだった中山競馬場へ観に通った。

そして就職の時期を迎え高校の先生が成田にある出羽牧場を紹介してくれた。

牧場で働き初めて6年目、転職が訪れた。牧場にたまに来ていた山崎調教師が開業したという話を聞いたのだ。やってみようという気持ちが強かったのだらう、聞いてすぐ電話した。「電話して押しかけ同然で。でもOKしてくれたこと考えるとタイミングよかったのかも。」それから8年が経った。

その間、ブイマックイーンでは1番人気になったものの5着で「勝つことの難しさ」を学び、ピットインでは中山競馬場へ2回遠征し「観る立場から観られる立場に変わった不思議な感じ」を味わった。ミッドナイトムーンでは自分がもうちょっとうまく出来ていたら競走馬生活がもう少し長かったのではないかとこの思いがあるという。

「今後は息長く走れる子を作っていけたら。」がビジョンなのだそう。現在の担当馬はボーンセブリティとスカイタイクーン。

ボーンセブリティはとにかくゲートが課題。「ゲートさえ克服できればもっといいとこまでいけるはず」と語る。スカイタイクーンはオーストラリア生まれのフサイチペガサス産駒でこれからデビュー予定。

趣味は沖縄の三線を弾くこと。沖縄が大好きではじめてのだそう。1歳7ヶ月になるお子さんの名前も沖縄の美しい海をイメージして美海(みみ)ちゃんと名づけるほど。今年はその念願の沖縄旅行にも行けた。

誕生日当日はJBCが終わってから家族でお祝いの予定。ちなみに「早く次の子が欲しくて、出来れば男の子がいいなあ。」とのこと。来年のお誕生日にはもう一人増えているといいですね。

馬頭観世音大祭



10月21日、川崎競馬小向厩舎では馬頭観世音大祭が行われました。この一年間で事故や病気などで亡くなった競走馬たちを供養し、現役馬の無事安全を祈願する厩舎行事です。厳粛な雰囲気の中読経、来賓の挨拶と続き、献杯から供養の宴。この日ばかりは近所の方をご招待して厩舎婦人会による手作り屋台では焼きそばや雑煮、モツ煮などが振る舞われます。厳かでいて和やかな秋の一日となりました。

おつかれさま 平成18年9月退厩馬

佐々木吉郷	フジジェニユイン	牡 5	栃木県	乗馬
安池成実	グリーンヒルヒット	牝 4	神奈川県	乗馬
安池成実	オウシュウミラクル	牡 3	神奈川県	乗馬
田島寿一	フレンチキャンドル	牡 3	群馬県	乗馬
鬼沢裕充	チューラ	牝 4	岩手県	繁殖
佐々木仁	シティーコーラル	牝 5	茨城県	乗馬
三橋三吉	タクシンクイーン	牝 5	神奈川県	乗馬
秋山重美	マイティタケヒメ	牝 2	福島県	乗馬
中野五男	レッドベリーズ	牝 5	福島県	乗馬
中野五男	ライオーカン	去 3	福島県	乗馬
佐々木仁	リパティーベル	牝 5	茨城県	繁殖
佐々木仁	チャームカーニバル	牝 5	茨城県	繁殖
山崎尋美	カゼノタカオー	牡 4	群馬県	乗馬
八木正喜	オーベルマ	牝 6	群馬県	乗馬
中野五男	セキノコスミック	牝 2	佐賀県	転厩
武井栄一	ライジンジョー	牡 3	群馬県	乗馬
長谷川茂	エイシンザオウザン	牡 5	神奈川県	乗馬
福島幸三郎	フジキドラゴン	牡 2	長野県	乗馬
高月賢一	ピコ	牝 2	神奈川県	廃用
久保秀男	ハマコ	牝 4	群馬県	乗馬
長谷川茂	ロイヤルバズーカ	牡 6	神奈川県	乗馬
村田六郎	イブキパーセル	牝 3	福島県	乗馬
三橋三吉	サバナナガール	牝 3	岐阜県	転厩
山崎尋美	モエレバントレ	牡 4	北海道	休養
原三男	フェアリーウイング	牝 4	埼玉県	転厩
八木正喜	ドリームエンペラー	牡 4	群馬県	乗馬
足立勝久	サンボンド	牡 7	茨城県	乗馬
河津裕昭	ユメノキリフダ	牝 3	北海道	繁殖

* staff room *

● JBCですね。この日がついにやって来るかと思うと感慨深いものがあります。川崎競馬倶楽部ではJBC特別版をつくり初めて全国に配布されるという喜びもありました。定義をくつがえす2日間開催と距離。川崎競馬にとって最高の一日になることを願います。JBCに向けてあっちこっちと奔走するカツマルくん。コマーシャルではダンスも披露してましたね。出身は？体重は？好きな食べ物は何？そろそろ謎につつまれた(？)公式プロフィールをオープンにしたいものです。

あ

● この後記を書いているのはJBC1週間前。ここまですごく早かったです。川崎勢はマイルにイシノダンシング、ジルハー、エスプリフェザント。クラシックにアスターバジル、テンセイフジ、ビービートルネードとそれぞれ3頭の登録があります。みんなの夢を乗せて大舞台へ！皆さんの応援が追い風になります。ぜひいらしてくださいね。

楓

● まだまだ先と思っていたJBCがついにやってきました。そのJBCクラシックに参戦予定のビービートルネード。普段通り馬房でくつろいでいました。彼の隣はマイルに出走予定のイシノダンシング。こちらは退屈だったのか顔を出して(めずらしく？)甘えてくれました。どちらもプレッシャーは感じていない様子でした。JBCでは全国の強豪を相手に川崎勢がどこまで頑張れるか楽しみです。でも皆さん、くれぐれも怪我には気を付けて下さいね。

とら